

【調査設計】

調査方法：インターネットによるアンケート調査

調査地域：全国

調査対象：20～69 歳の男女について、以下の割付でサンプル回収を行った。

		20代	30代	40代	50代	60代	小計
男性	既婚	30	30	30	30	30	150
	未婚	30	30	30	30	30	150
女性	既婚	30	30	30	30	30	150
	未婚	30	30	30	30	30	150
小計		120	120	120	120	120	600

北海道	東北	関東	東京	信越・北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	330

※経年変化を見る設問（グラフ7～10）では、条件をあわせて割付をした 600 サンプルで集計。

有効回答者数：930 名

調査時期：2012 年 12 月

＜調査結果の総括＞

■地域環境に対する意識

住んでいる地域の環境については、地域の特色が大きく浮き彫りになりました。「飲み水のおいしさ」や「空気のきれいさ」では、北海道や信越・北陸が高く、「緑の多さ」では東北が高くなっています。

こうした、住んでいる地域の自然環境の良し悪しを 100 点満点で聞き、これを「環境幸福度」として計測したところ、全国平均は 64 点ですが、地域によって差があり、最も高かったのは北海道の 73 点で、東京、近畿及び沖縄の 59 点と 14 点の差になっています。

また、次世代にのこしたい日本の自然について聞いたところ、日本の一番の特徴である「四季」が最も高くなりました。地域ごとに見てみると、東北では「ふるさとの風景」、「清流・小川」が、北海道では「澄んだ空」が、沖縄では「青い海」が高いポイントになるなど、その地域の自然環境の特徴をのこしたいという意識がはっきりと表れた結果となっています。

■環境や環境活動に対する意識

現在の日本の自然環境について、不安を感じている日本人は実に 4 人中 3 人に上りました。10 年後の自然環境についても、悪くなっていると答える人が多数派でした。逆に、良くなっていると答える人は昨年より減少し、身近な自然環境について、より悲観的になっている傾向が見られます。不安に思う理由としては、「自然災害の増加」や「不安定な気候」、「地球温暖化の進行」などを挙げている人が多く、いずれも半数を超えています。一方で、「日本の優れた環境技術」や「クリーンエネルギーの普及」に希望を見出している人も多い傾向が見られました。

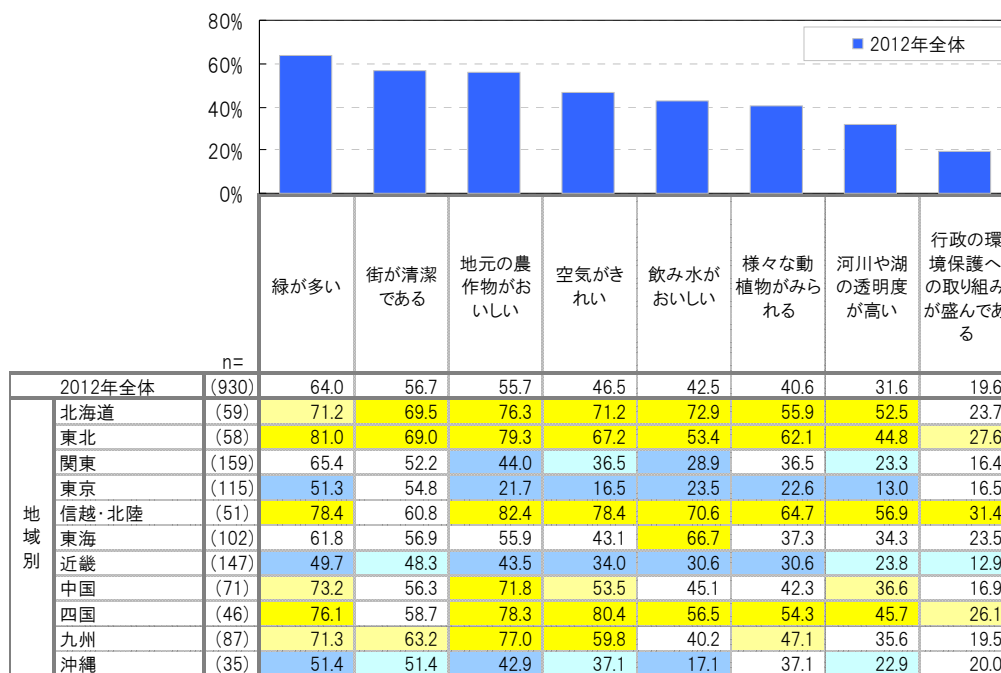
また、環境に配慮した電化製品についての 2012 年の購入状況、今後の購入意向はいずれも「LED 照明」が最も高くなり、身近なエコ家電として普及しつつある様子がうかがえます。

1. 飲み水自慢、空気自慢は北海道、信越・北陸

・住んでいる地域の環境や状況を聞いた設問では、「緑が多い」(64.0%)が最も多く、「街が清潔である」(56.7%)、「地元の農作物がおいしい」(55.7%)と続いています。地域別では、「飲み水がおいしい」という項目については、北海道(72.9%)、信越・北陸(70.6%)が高くなりました。

・「空気がきれい」という項目についても、信越・北陸(78.4%)、北海道(71.2%)が高く、地域差が大き出ています。[グラフ 1]

グラフ 1) 自然環境の状況

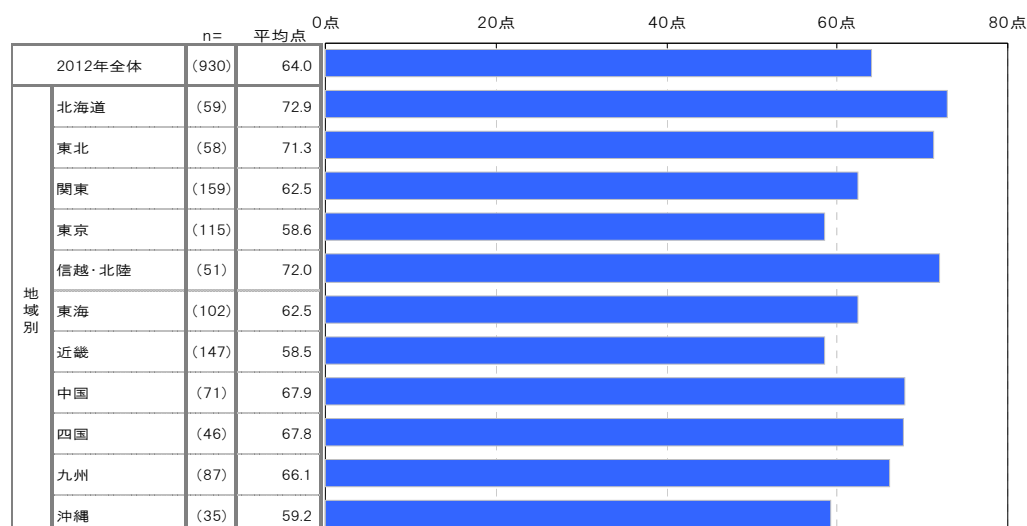


※2012年全体で降順ソート

2. 「環境幸福度」が最高点は北海道(平均 73 点)

・住んでいる地域の自然環境を 100 点満点で聞き、それを「環境幸福度」と名付けました。「環境幸福度」の対象者全員の平均点は 64 点でしたが、地域別で比較すると、最も高かったのは北海道で平均 73 点。最低点だった東京、近畿及び沖縄の平均 59 点より 10 点以上の開きがありました。自然環境の良さを表す項目の数値が全体的に高い(グラフ 1)北海道、信越・北陸、東北は「環境幸福度」も高い結果となっています。[グラフ 2]

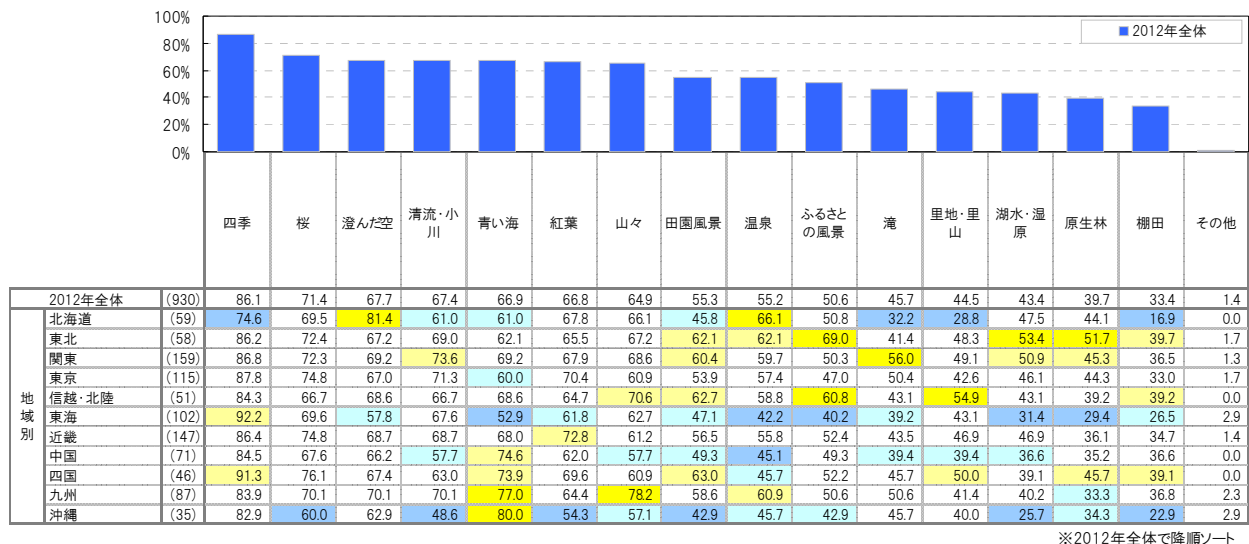
グラフ 2) 現在のあなたのお住まいの地域の自然環境は何点くらいと思うか(100 点満点)



3. 次世代にのこしたい日本の自然は「四季」、「桜」、「澄んだ空」

・次世代にのこしたい日本の自然や自然の風景については、「四季」が最も高く9割近く(86.1%)、次いで「桜」(71.4%)、「澄んだ空」(67.7%)と続き、多くの項目で半数以上になっています。地域別では、東北では「ふるさとの風景」、「清流・小川」(69.0%)が、北海道では「澄んだ空」(81.4%)が、沖縄では「青い海」(80.0%)が他の地域より高めで、地域の特色となっている自然をのこしたいと思っている状況がうかがえます。[グラフ 3]

グラフ 3) 次世代にのこしたいもの



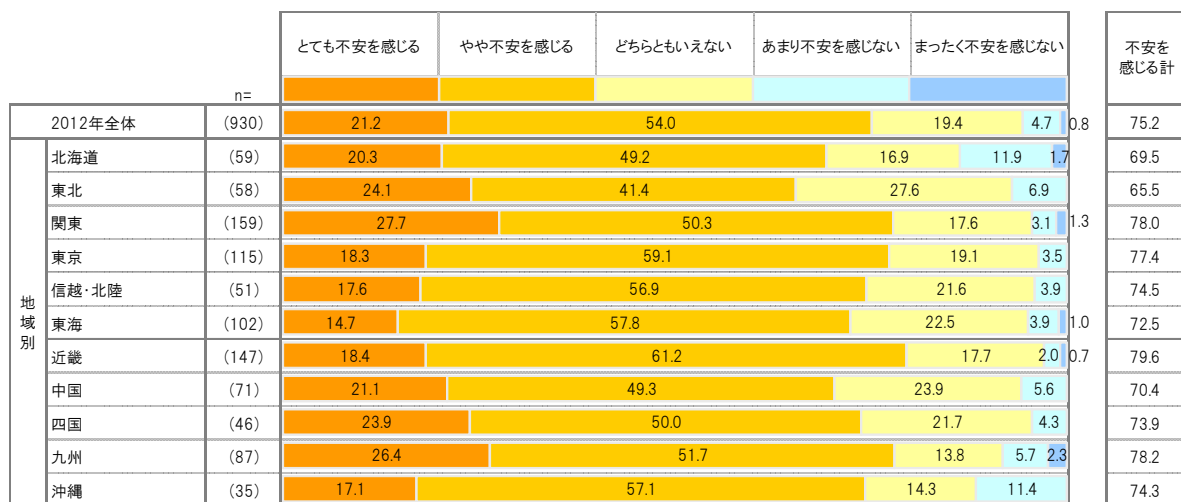
4. 現在の自然環境について、4人中3人は不安

・現在の日本の自然環境について、不安を感じているかどうかを聞いたところ、4人中3人(75.2%)は「不安を感じている」(とても不安+やや不安 計)と回答しています。「不安を感じない」(あまり感じない+まったく感じない 計)は1割に満たず(5.5%)、多くの人が自然環境を危惧しています。[グラフ 4]

・「不安を感じている」(とても不安+やや不安 計)と答えた人に、不安材料になっている要因を聞いたところ、「自然災害の増加」(73.2%)、「不安定な気候」(71.8%)、「地球温暖化の進行」(65.5%)などが挙げられています。九州では、「不安定な気候」(85.3%)が他の地域より高く、昨年台風の被害を大きく受けたことが影響していると思われます。[グラフ 5]

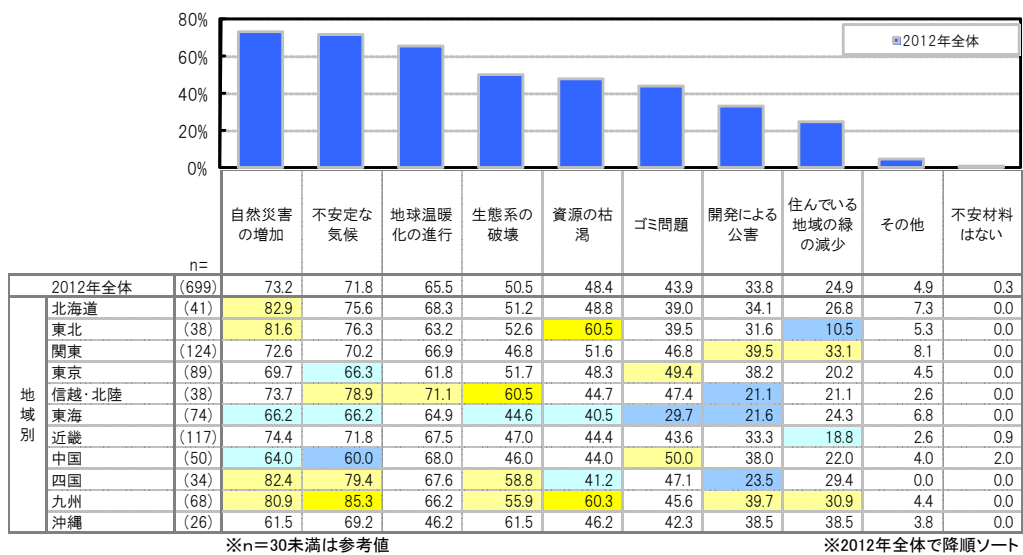
・一方、日本の自然環境に対し、“希望が持てる”と思うような事柄では、「日本の優れた技術」(55.5%)が半数を超え、続く「クリーンエネルギーの普及」(37.7%)との差が大きくなっています。[グラフ 6]

グラフ 4) 現在の日本の自然環境について不安を感じるか



※不安を感じる計:「とても不安を感じる」+「やや不安を感じる」

グラフ 5) 現在の日本の自然環境に関する不安材料

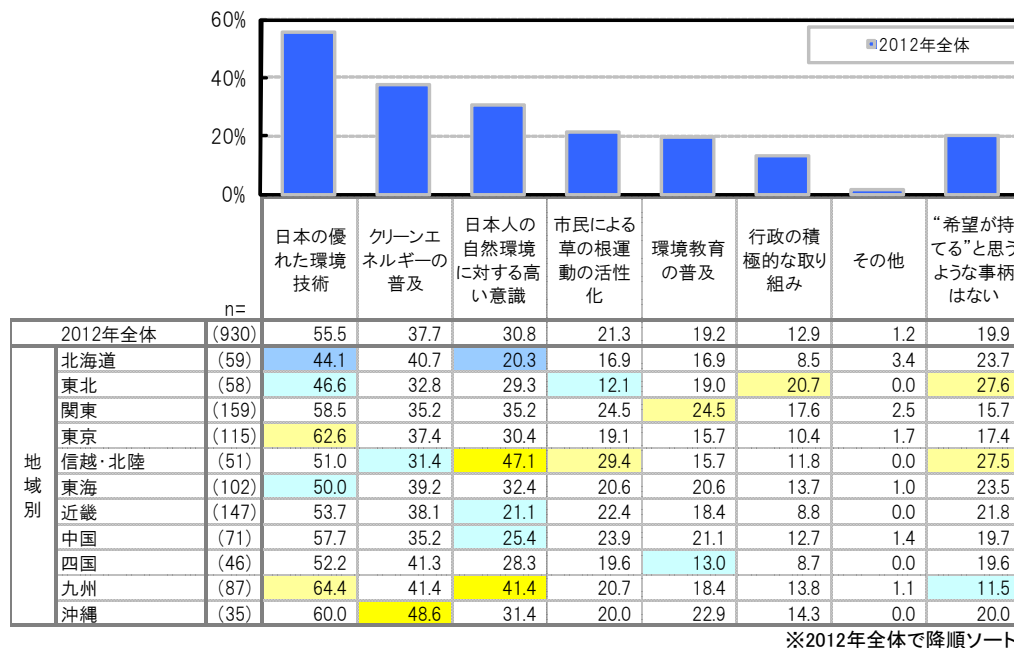


※n=30未満は参考値

※2012年全体で降順ソート

* n=699 (グラフ 4 で不安を感じると答えた人のみ回答)

グラフ 6) 現在の日本の自然環境に関する希望が持てると思える事柄



※2012年全体で降順ソート

5. 10年後の身近な自然環境は悪くなっていると思う人が多数派

・10年後の身近な自然環境については、“良くなっている”(今よりも良くなっている+やや良くなっている 計)が2割に満たず(15.3%)、4割以上(44.4%)が“悪くなっている”(今よりも悪くなっている+やや悪くなっている 計)と回答しています。昨年の調査に比べると、“良くなっている”は23.4%から10ポイント近く減少し、身近な自然環境について、より悲観的になっている様子がうかがえます。また、一人暮らしの人より、子どもと同居している人のほうが悲観的であることが分かりました。[グラフ 7]

グラフ 7) 10年後、身近な自然環境はどのようになっていると思うか

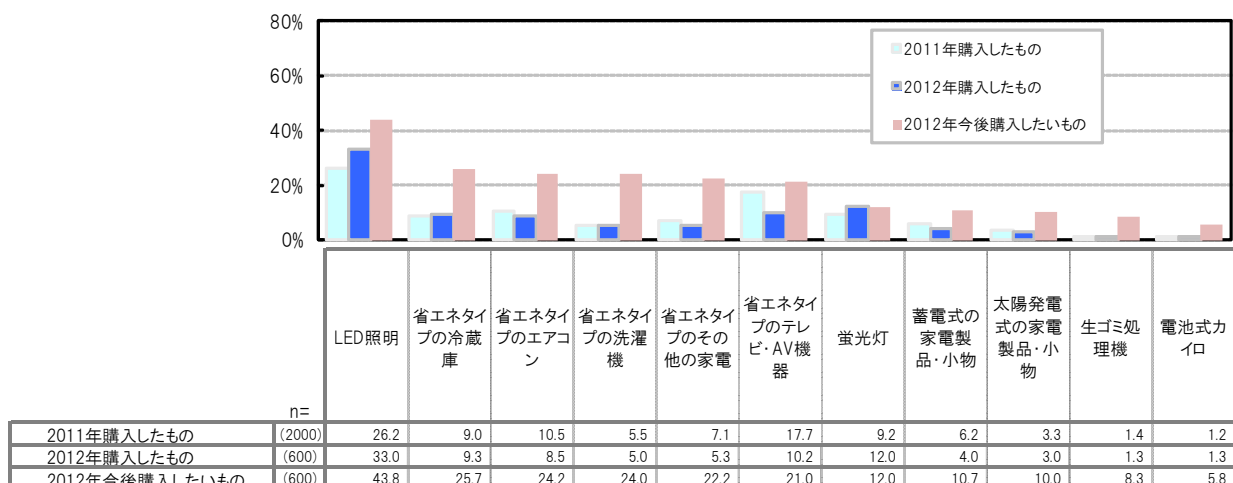
			今よりも良くなっている	今よりもやや良くなっている	今と変わらない	今よりもやや悪くなっている	今よりも悪くなっている	良くなっている計
n=								
2011年全体		(2000)	20	21.4	28.7	36.5	11.5	23.4
2012年一般全体		(600)	15	13.8	40.3	38.7	5.7	15.3
性 × 年 代	男性・計	(300)	20	15.3	43.3	33.3	6.0	17.3
	男性20代	(60)	17	23.3	45.0	18.3	11.7	25.0
	男性30代	(60)	17	10.0	58.3	26.7	3.3	11.7
	男性40代	(60)	3.3	16.7	21.7	51.7	6.7	20.0
	男性50代	(60)		15.0	46.7	31.7	6.7	15.0
	男性60代	(60)	3.3	11.7	45.0	38.3	1.7	15.0
	女性・計	(300)	10	12.3	37.3	44.0	5.3	13.3
	女性20代	(60)		6.7	33.3	51.7	8.3	6.7
	女性30代	(60)	17	13.3	35.0	48.3	1.7	15.0
	女性40代	(60)		6.7	43.3	43.3	6.7	6.7
	女性50代	(60)	3.3	16.7	38.3	38.3	3.3	20.0
	女性60代	(60)		18.3	36.7	38.3	6.7	18.3
同居 形態 × 性別	男性-子供と同居	(100)	20	10.0	45.0	33.0	10.0	12.0
	男性-子供以外と同居	(125)	0.8	21.6	40.8	33.6	3.2	22.4
	男性-1人暮らし	(75)	4.0	12.0	45.3	33.3	5.3	16.0
	女性-子供と同居	(85)		8.2	47.1	40.0	4.7	8.2
	女性-子供以外と同居	(163)	1.8	12.3	35.0	46.0	4.9	14.1
	女性-1人暮らし	(52)		19.2	28.8	44.2	7.7	19.2

※良くなっている計:「今よりも良くなっている」+「今よりもやや良くなっている」

6. 今後購入したいエコ家電は「LED照明」、「冷蔵庫」、「エアコン」

・環境保護活動のために今後購入したい電化製品は、「LED照明」が最も高く4割以上(43.8%)で、「省エネタイプの冷蔵庫」(25.7%)、「省エネタイプのエアコン」(24.2%)と大きく差が開いています。実際に購入した商品と今後購入したい商品との比較では、「省エネタイプの冷蔵庫」(9.3%→25.7%)、「省エネタイプのエアコン」(8.5%→24.2%)と大きく開きがあり、購入したい気持ちはあるけれど高価なためなかなか購入に踏み切れていない様子がうかがえます。一方、「LED照明」の購入状況は2011年から最も大きくポイントを伸ばしており(26.2%→33.0%)、身近で気軽に取り組めるエコ家電としてLED照明は普及しているようです。[グラフ 8]

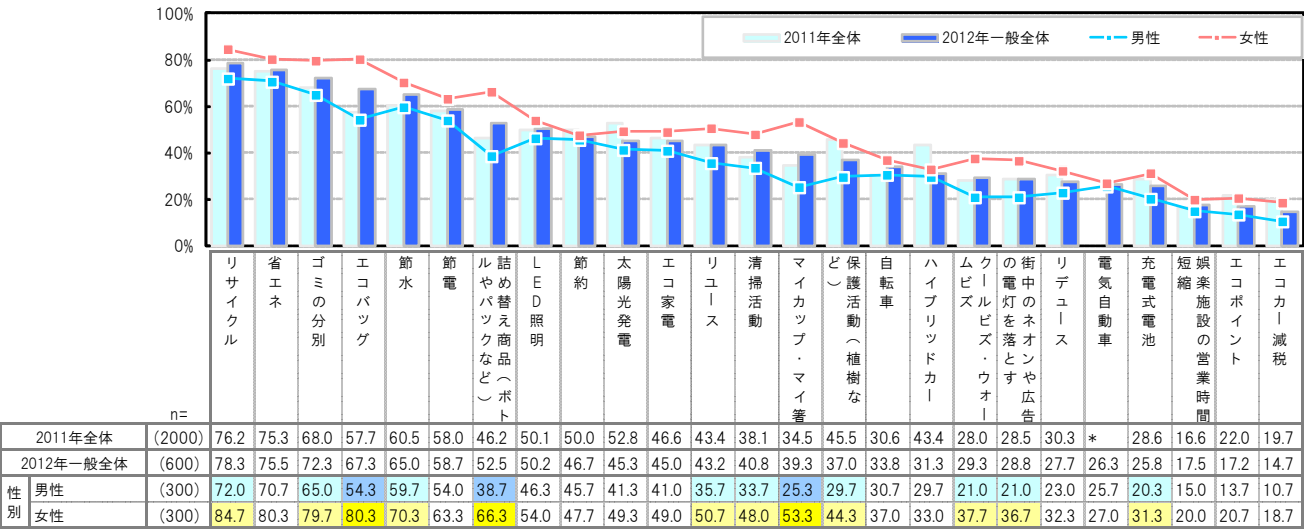
グラフ 8) 環境保護活動のために今後購入したい家電



7. 環境保護活動といえば、「リサイクル」、「省エネ」、「エコバッグ」は昨年より 10 ポイントアップ

- ・環境保護活動(エコ活動)と聞いて思い浮かべることは、「リサイクル」(78.3%)、「省エネ」(75.5%)、「ゴミの分別」(72.3%)が 7 割を超えました。
- ・昨年の調査と比較すると、上位 3 位は変わりませんが、「エコバッグ」は 10 ポイント近く上がっているほか(57.7%→67.3%)、全体で見ても多くの項目でポイントが上がり、環境保護活動がより身近なワードになっていることがうかがえます。[グラフ 9]

グラフ 9)環境保護活動といえば何か



※上位 25 位までを掲載。2012 年一般全体で降順ソート

8. 漢字一文字で表す環境保護活動のイメージ第 1 位は「清」。昨年 1 位「節」は 3 位に

- ・環境保護活動(エコ活動)を漢字一文字で表してもらったところ、昨年は「節電」、「節約」のイメージが強かったためか、第 1 位は「節」でしたが、今年は 3 位になりました。
- ・代わって 1 位になったのは「清」で、以下、2 位「緑」、3 位「節」、4 位「守」、5 位「美」という結果でした。昨年は、1 位「節」、2 位「清」、3 位「緑」の後は、4 位「省」、5 位「忍」と続いており、我慢や省エネといった印象の語が上位でしたが、今年は「守」、「美」など自然環境を想起する語が続いています。[グラフ 10]

グラフ 10)「環境保護活動(エコ活動)」のイメージを漢字一文字で表すとしたら何になるか

2012 年			2011 年		
順位	漢字	%	順位	漢字	%
1	清	10.7%	1	節	10.4%
2	緑	10.2%	2	清	7.6%
3	節	8.8%	3	緑	4.5%
4	守	3.5%	4	省	3.9%
5	美	3.3%	5	忍	3.6%